

所属・職・氏名	岩手大学農学部 農業生命科学科 植物生産学 教授・壽松木 章
シーズ名	「電解水」の農業利用
シーズの概要	水を塩化カリウムなどの電解剤とともに電気分解して生成される電解水（酸性水とアルカリ水）は、その物理化学的特性により植物の生育に対して種々の影響を及ぼすことが知られている。例えば、pH2.7以下の強酸性水は強い殺菌作用があり、一部の農家は農薬の代替や生育促進等を期待して使用している。しかし、その効果を定量的に評価した試験研究は少ないため、果樹を対象に電解水の効果を検討した。 その結果、「強酸性水」と「アルカリ水」を交互散布は果実の肥大を促進すること、果肉硬度などの品質にも影響すること等が認められた。病害に対する影響は明らかに出来なかった。 今後、「電解水」の植物生長に対する影響を基礎的に解明することや、ハウス栽培など密閉系での使用および他の作物での効果を検討することにより、減農薬栽培や品質向上効果が期待される。
その他参考資料	
共同研究機関・企業	
特許(出願)番号	

